

金剛輪寺では毎年1月18日、新年最初の観音菩薩の縁日に、参列者の方々の健やかな1年を祈願して「初観音・大般若転読会」が執り行われます。

大般若転読会とは、『大般若経』というお経を読み上げる法要で、古来より国家安寧を祈るため、天変地異や疫病を鎮めるためといった目的で行われてきました。

今回は、今年の「初観音・大般若転読会」について紹介します。

1. 大般若転読会とは？

大般若転読会では『大般若経』を数人の僧侶で分担し、“転読”という方法で読み上げられます。

まず、『大般若経』は正式には『大般若波羅蜜多経』といい、『般若経』の集大成といわれる全600巻に及ぶ経典です。『般若経』は大乗仏教の根底となる文献群で、仏教における「空」の思想を説いています。正確な成立時期は不明ですが、1世紀頃に一応の完成をみたといわれています。

『般若経』は1世紀以降、チベット語や漢語に一部が翻訳され、広い地域で読まれました。やがて7世紀になり、『西遊記』の三蔵法師のモデルとして知られる唐(中国)の僧侶、玄奘(602頃~664)がインドから他の仏典と共に『般若経』関連の経典を持ち帰って翻訳し、『大般若経』を完成させました。

『大般若経』の日本への伝来時期も定かではありませんが、歴史書『続日本紀』に「大宝3年(703)、『大般若経』を4つの寺院に読むよう命じた」との記述があり、『大般若経』の成立から約40年後には日本に伝わっていたことが分かっています。

次に、転読は経典の主な部分(各巻の冒頭部分など)を読誦しながら経典の頁を一斉に広げ、その巻を読み上げたこととする読み方です。最古の記録である歴史書『続日本紀』によれば、奈良時代、天平7年(735)まで廻り、宮中や大安寺(奈良県奈良市)をはじめ4つの寺院で転読が行われていたようです。

2. 令和7年の初観音・大般若転読会

金剛輪寺における「初観音・大般若転読会」は本堂において、導師を務める金剛輪寺住職と、転読する僧侶6人の計7人で執り行われます。堂内の内陣(仏像を安置する場所)には、本尊正面に住職の席、その両脇に3席ずつ、ほかの僧侶が座る席があります。やがて、僧侶7人が席に着き、天台声明(仏教声楽曲)、法則(法要の目的を述べた言葉)が唱えられると、転読がはじまります。

最初に住職が『大般若経』の第1巻を転読し、続いて6人の僧侶が転読をはじめます。住職が第1巻と第600巻、6人の僧侶が第2巻~第599巻を約100巻ずつ分けて担当します。

住職が「理趣分」を読誦する間、ほか6人の僧侶が転読します。



▲初観音・大般若転読会の様子(令和7年1月18日撮影)

その流れは、「大般若波羅蜜多経第〇唐三蔵法師玄奘奉詔譯」(〇は巻数)と唱えて経典を一斉に開きます。そして「降伏一切大魔最勝成就」と唱えて正面に置いてある経箱を叩き、経箱の上に読み終えた経典を積み上げます。この一連の所作を約100巻分を行います。

最後に住職が第600巻を転読して、『大般若経』の転読が終わります。転読が終わると、天台声明の斉唱や『般若心経』の読誦、祈願文の読み上げなどが行われ、法要は終了します。参列者の中には法要の間、黙祷や合掌する人が見受けられました。

3. 終わりに

「初観音・大般若転読会」は金剛輪寺の年中行事として行われてきました。このような行事として5月5日の「仏生会・花祭り」や、8月9日の「観音盆千日会・千躰地藏盆」があげられます。

この「初観音・大般若転読会」以外の法要や祭礼も、起源や歴史等を振り返ってみると、何か新しい気付きや、人々の神仏への願いや思いがわかるかもしれません。

歴史文化博物館 学芸員 西野 愛

ぶんが

情報発信中

- ・ハーティーセンター秦荘 ☎0749-37-4110 休館日 月曜(祝日に当たる場合は翌日以降の平日)
- ・歴史文化博物館 ☎0749-37-4500 開館時間 10:00~17:00
- ・近江上布伝統産業会館 ☎0749-42-3246 休館日 月・火・祝日の翌日
- ・愛知川びんてまりの館 ☎0749-42-4114 開館時間 10:00~17:00
- 休館日 月・火・毎月最終水曜・祝日

第11回 あいしょう絵画展

景色画や人物画など、また技法についても油絵や水墨画など、広く募集し一堂に展示します。どなたでもご来場いただけます。

作品 受付	日 時	7月26日(土)・27日(日) 10:00~16:00
	出 品 料	800円
展示 会期	日 時	8月2日(土)から10日(日)
	入 場 料	各日10:00~16:00(月曜日休館)※最終日は15:30まで 無料



第10回グランプリ受賞作品
「宮池」加地 篤

作品受付・展示会場ともに
ハーティーセンター秦荘
中ホールです

フランスの至宝

ジェラルド・プーレと仲間たちII



好評発売中

日 時	8月5日(火) 開演19:00
場 所	ハーティーセンター秦荘 大ホール
入 場 料	全席指定 一般 3,000円(当日500円増)※税込 中学生以下 500円(当日200円増)※税込 ※未就学児の入場はできません。

昨年、大好評のクラシックコンサート。86歳となっても、なお、現役として高いパフォーマンスを維持するバイオリニストジェラルド・プーレの圧巻の演奏と、チェロ、ソプラノ、ピアノの仲間たちとの四重奏コンサートをお楽しみください。

出演者 ジェラルド・プーレ ほか
プレイガイド ハーティーセンター秦荘、愛知川公民館、るーぶる愛知川

“からくりおもちゃ”をつくらう

江戸時代中期から庶民の間に広まったおもちゃで、木や竹、和紙・土・糸などの自然の素材を組み合わせて作ります。



思いがけない動きをする仕掛けがあります。

今年は「ねずみのふうしゃ」を作ります。夏休みの思い出に、おうちの方と参加してね。

日 時	8月3日(日) 13:00
場 所	ハーティーセンター秦荘 第3サークル室
対 象	小学1年生から6年生(1~3年生は保護者同伴)
参 加 費	1人1,000円

申し込み・お問い合わせはハーティーセンター秦荘まで。

ハーティーマンズリーコンサート

音楽好きが、とにかく楽しく演奏するコンサートです。ジャンルもいろいろ、歌あり演奏ありの60分。気軽な気分でお越しください。

♫ SHUTO-SAN
♫ シュトレン
♫ エリオット

日 時	令和7年7月19日(土)
	10:00から
場 所	ハーティーセンター秦荘 大ホールロビー
入 場 料	無料

※出演者は変更になる場合があります。
※アルミ缶やペットボトルキャップ・使用済切手があればお持ちください。福祉作業所の運営資金にさせていただきます。